

沼野教授と読む世界の日本、日本の世界

村上春樹など、多くの日本人作家の作品が海外で読まれる一方、国内では古典の新訳をきっかけに、海外文学の新訳ブームが起きています。世界が均質化へ向かうグローバルな時代こそ人々は、〈いまだ言葉にならぬ壁〉を越えるために〈世界文学〉の新たな巻き返しを待っているのです。本イベントは国境を超える文学についても多くの著作を持つ、東京大学教授・沼野充義先生をホストに、10代の若者たちを対象に、〈世界文学〉の視点で新しい読書の提案を行う3回連続の講座です。10代だけでなく、若者にオススメの本を知りたい大人の方のご参加も歓迎します！

第1回 時代と恋愛—日本文学のいまを書く

2012年9月29日（土） 13:00～15:00

於：東京都文京区・光文社プレゼンテーションルーム

ホスト **沼野充義さん** ゲスト **綿矢りささん**

【第1部】 13:00～13:20 ショートレクチャー／沼野充義さん

【第2部】 13:20～15:00 対談／綿矢りささん、沼野充義さん 質疑応答も行います。

綿矢りささん

1984年、京都府生まれ。小説家。早稲田大学教育学部国語国文学科卒。京都市立紫野高等学校在学中に『インストール』で文芸賞を、大学在学中に『蹴りたい背中』で芥川賞を、いずれも最年少受賞記録を更新して受賞。以後、作家として活躍を続けている。著書に『夢を与える』、『勝手にふるえてろ』、『かわいそうだね?』（大江健三郎賞受賞）。最近作に『ひらいて』。

沼野充義さん

1954年、東京都生まれ。文芸評論家。東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授（現代文芸論・スラヴ語スラヴ文学研究室）。専門はロシア・ポーランド文学。著書に『屋根上のパイリンガル』、『W文学の世紀へ』、『徹夜の文学 亡命文学論』（サントリー学芸賞受賞）、『ユートピア文学論』（読売文学賞受賞）、『世界は文学でできている—対話で学ぶ<世界文学>連続講義』（編著）、訳書にシンボルスカ『終わり始まり』、レム『ソラリス』、ナボコフ『賜物』、チェーホフ『新訳 チェーホフ短篇集』など。日本文学の海外への紹介にも積極的に取り組んでいる。

◆◆◆参加申込方法◆◆◆ 先着順での受付です。定員に達し次第、締め切ります。

いずれかの方法にてお申込ください

FAX：03-5211-7285

郵送：〒101-0051 千代田区神田神保町3-12-3 JPIC

ホームページ：<http://www.jpic.or.jp/>

| | | | |
|--------------|-------|------|---|
| 代表者氏名・ 年齢 | (才) | 参加人数 | 名 |
| ご住所 | 〒 | | |
| TEL | FAX | | |

<問い合わせ> JPIC「翻訳文学案内」係 TEL：03-5211-7282（平日10時～17時）、E-mail：info@jplic.or.jp

主催：一般財団法人出版文化産業振興財団（JPIC）、協力：光文文化財団、光文社

子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）助成活動